

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5

特 104

980

容真御流
卷中傳

躰用之卷

始



史中傳の花紀カキ中中神用カキ此活カキ方カキ多カキ
 神カキの本カキとカキ海カキとカキ掛カキ了カキ神カキ籠カキ子カキ
 稱カキのカキまカキるカキ交カキ刺カキ室カキ中カキはカキ括カキるカキ衆カキ
 本カキるカキ天カキ地カキとカキまカキをカキ深カキくカキ也カキをカキ
 宗カキのカキ能カキをカキ活カキまカキるカキ一カキ人カキ一カキ用カキをカキ
 是カキ神カキ用カキのカキ活カキ方カキありカキとカキはカキ籠カキハカキ空カキ中カキ
 悔カキるカキありカキ種カキはカキ是カキのカキ宗カキのカキ文字カキのカキ



おし花の染も愛化由あるを
 心は母格をともる志のそを格をとも
 ぬれざるは学ぶ文字の如し依る神
 心の時を三女の死を其格を学ぶせ
 中傳ふ如く愛実本を辨用お急
 の道理を傳へ活きしむるものす用利

号三拾々條目録

一活花三相のそ傳おの活方、業技子障りそ
 勢はよく用、泐冥の花舞、半冥の花舞、合を
 知し実物杯も号、辨用、一、二、三、花
 舞、多、少、く、多、少、と、傳、お、とい、ふ、△、類、相、の、節、を、花、舞、技
 かし、や、う、く、み、無、物、方、活、き、親、ある、とい、ふ、辨、業、花、之、
 一、冥、舞、とい、ふ、は、安、志、存、とい、ふ、く、好、り、く、と、あ、る、技、子、は、
 多、く、そ、花、舞、技、少、く、風、情、を、とい、ふ、活、き、也、如、く、

床柱の方主位



菊の骨



明口客位

人肉

天波

活花波肉骨のより天
波人肉菊の骨なり
客位用の格とて
菊の骨なる故に根本
能志するより形勢あり
右位主位より左位
しりて傳ふ口傳

海桐の活方
菊の如し



菊の如し

菊の花は母やく活るる

形勢也

真行そ花臺為板付の事

行の臺明口、花臺ハ

木物活き、花臺ハ

木物活き、花臺ハ

時候ハ春秋あり

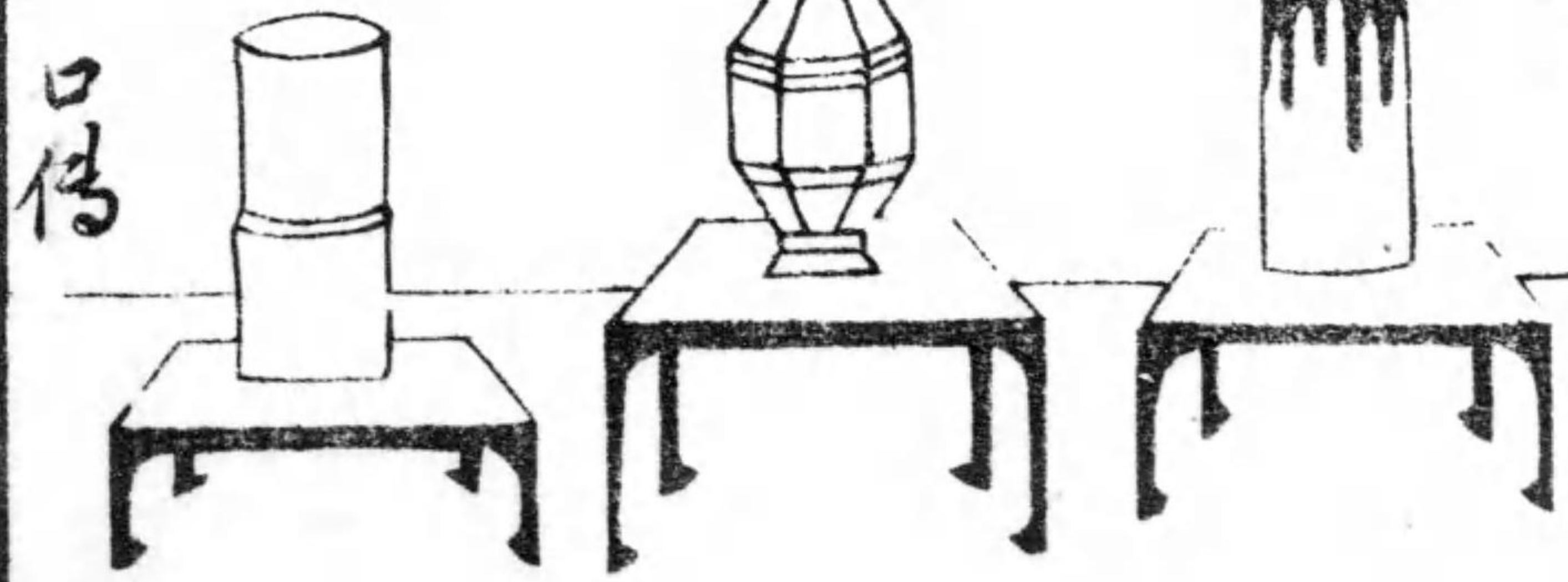
此の時候ハ冬、春の花臺

中、夏あり、花臺ハ

花ハ木物の活るあり

此の臺極の方あり、花臺ハ

水、花ハ、夏あり、花臺ハ



口傳

一君公より、取賜の臺、日花活方の、二、三、條、種

領の花ハ、過ハ、大、板、付、の、活、き、木、物、活、る、事、あり

得、て、打、ら、む、事、也、故、也、截、ぎ、と、も、花、の

姿、意、し、く、木、の、中、央、子、活、き、書、院、の、物、り

香、餅、と、拵、香、可、く、く、の、花、拵、領、の、臺、日、所

一木物、拵、方、口、傳、南、天、堂、上、る、口、傳、有

一拵、陽、大、手、拵、木、拵、活、方、三、々、條、拵、時、ハ

拵、先、日、大、花、と、も、あり、出、し、決、め、あり、拵、日、所

紫系陽大手極日引

大花ハ行ぬる子

又廣口ノ横花

角のちり活るもの



木々き調り
格先ハ蒼台と葉



紫系花活るもの

枇杷活るもの

本葉換一文字

葉ふもふあり

口傳

換一文字



お生

葉敷ちよ

成る甲しと葉

口のよき口傳



神用の活方

あり

一 香席の花活方此時ハ大掃ありてハ花も席
 へ懸りて活るあり持し香がのまぬ申すこ
 としき冠飾の花と心得申し

一陣中の花活方此時ハ陽氣成る花水上の
 流きもの風も活るあり椿あは早く散物又
 盆物活きもの器をし武士の揃えらんと
 和らぎある事 町要あり

一 土重ハ三重ハ活方此時ハ四季の重の交

履懸ふ上口盆物ハ文名を性の物なりもや
 登りて木物茶物水茶と活懸し香の華
 を老へ懸し口傳

一 遠山雲花の系を活方此時



下口の花ハ上
 口のち口あり
 高くあるの
 よし

口傳

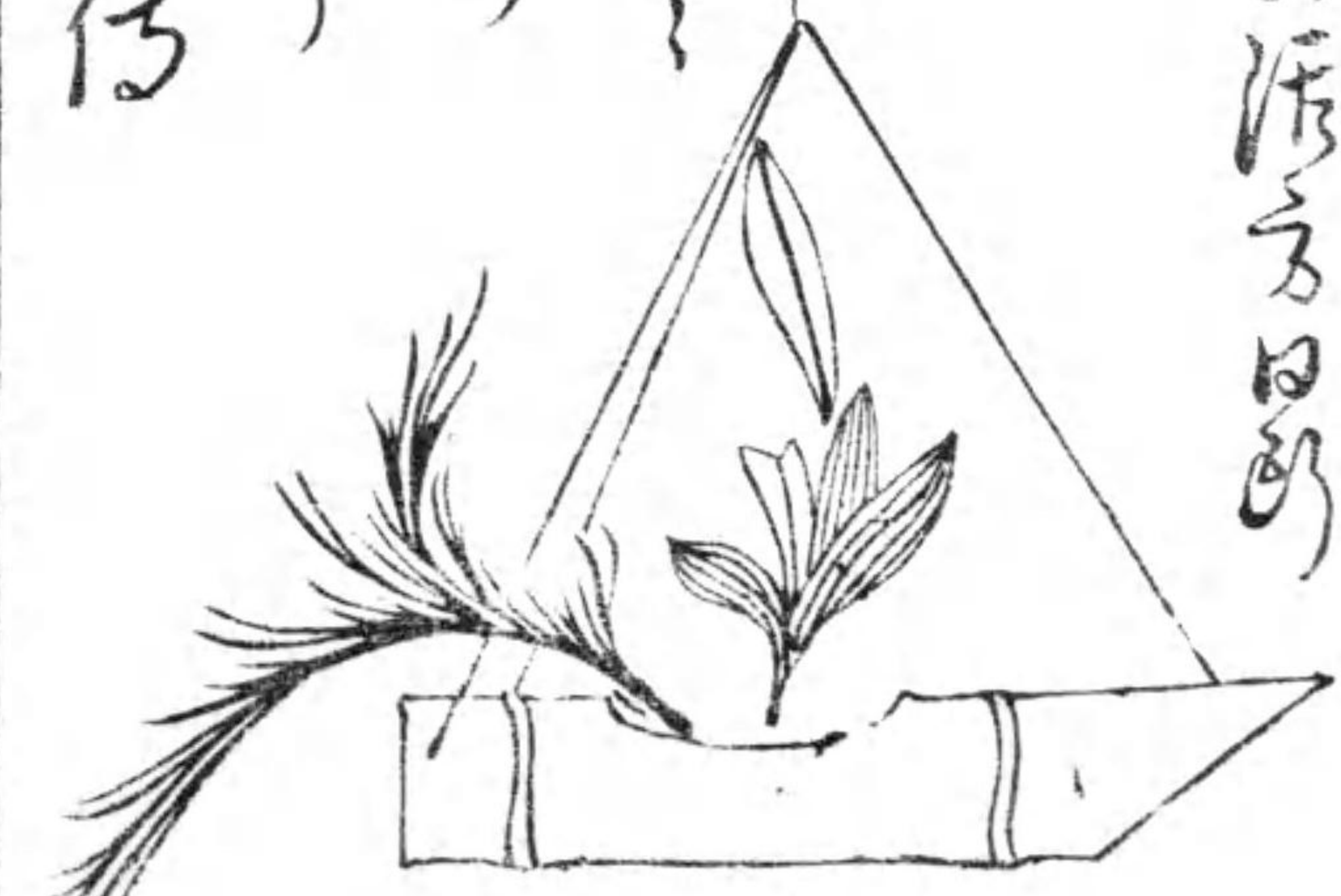
上口横花
 ありて見え
 へ懸いぬ

沖津末舟系利活方の景

舟ハ五ノ月ニハハツ月ニ
掛ル也シ帆花をの活口傳
雲花の活方日也



舟ハ五ノ月ニハハツ月ニ
掛ル也シ帆花をの活口傳
雲花の活方日也



渚津末
船系利
活方の
景

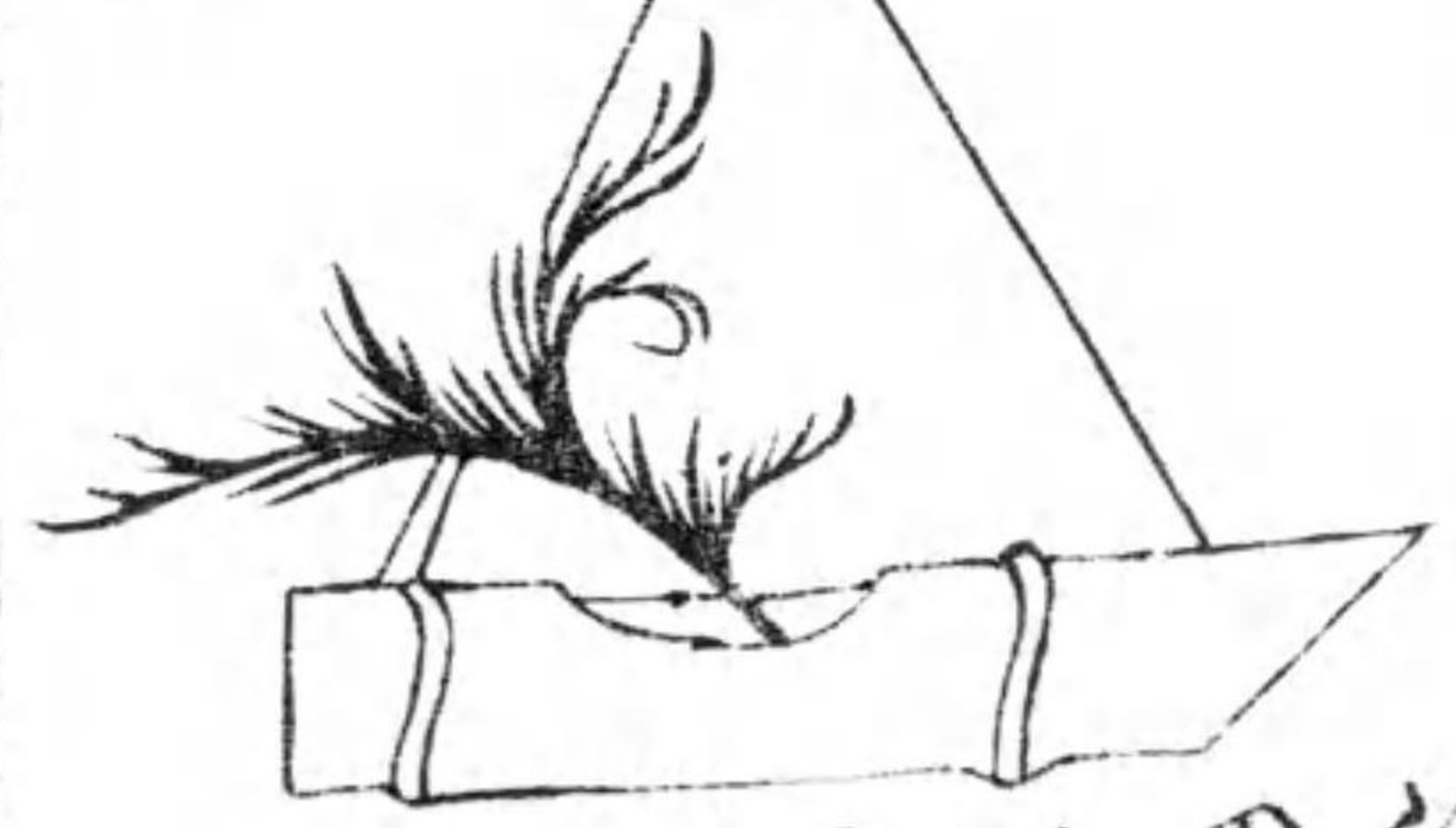
掛り船

強花の景船手の中ハ帆花の景ナリ
見ハ懸ラモシ



宿^{やと}船の景を必也ク

帆花^{ふなばな}あり懸^かふ^は模^も花^{はな}
活^いる^はこと^も女^をふ^らき^る
心^は好^{あり}



繩^{なわ}花^{はな}ハハ見
の^は方^はお^して
景^の也^ク
活^る也^リ
口^傳

木賊活方必あり

とらぎ曲活

持方口傳

神用の花活

西ふし

木賊かりこ活方

明活あり

花芽かめをよす

活るあり

三支の活方



七

一伐りたか竹たか筆たか意合活 活方ハ味三本活る

時ハ三本たかふしの数ハ本たかをたか盡したか大斜

切用ハ中斜たか切当ハ本たか切四たか本たかともたか活る

花を意合たかてたかしたか筆たか時ハ根本たか意合て

西たか味たかより筆たか言たかくたかもたかふたかるたかもたか何たか口傳

筆たか持方口傳



大ありめ



平あり

中ありめ

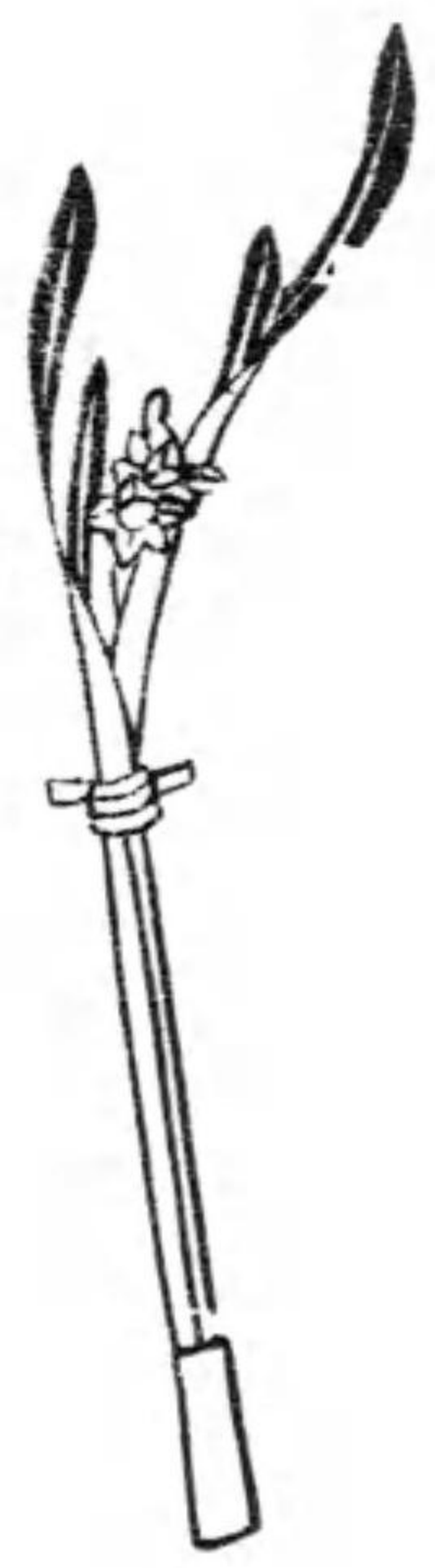
一三五面活方新活方ハ常ツケの花の如く活る花
 の向之ウヘ花葉ハナふ多オホクく葉ハ小コ見ミ白シロ隙マタの次ツギ女メ々々左
 右ミダリ小コ見ミる時トキ々々明アキラスク三ミ方カタ々々活イる
 有アり葉ハの如ニ似ニ生ナる活方イ活方イ有アり口クチ傳ツ
 一ヒト幅ハタ葉ハ々々水仙スイセン根ネ葉ハの事コト新アタラ即トキ亦モハ陽ヨウ々々
 活イるニ白シロ根ネと見ミるニ活イるニ有アり活方イ活方イ如ニ入イ



白根

水仙スイセンのイ方

水仙スイセンのイ方



二株ニカブ活イのイ心ココロ



大活オシボハ葉ハ々々斗トりのイ株カバと



一銀挿^{ぎんさく}系柳^{やなぎ}猫柳^{ねこ}三々條^{さんざんじょう}女柳^{にょ}数入^{かずいれ}をさる
 時^{とき}きさう^{さう}巾^{きん}巾^{きん}伸^{のび}しき^しい^いとして^{して}挿^さめる^め挿^さる^る方^{かた}口^{くち}傳^{でん}
 懸^か合^あハ^ハ子^こ花^は見^み合^あハ^ハ枝^え木^き物^{ぶつ}を^を用^{もち}

猫^{ねこ}挿^さる^る方^{かた}
 玉^{たま}とりの^の技^{わざ}を^を口^{くち}傳^{でん}

挿^さる^る方^{かた}口^{くち}傳^{でん}



長^{なが}閑^{かん}の^の柳^{やなぎ}活^かる^る方^{かた}

活^{くわ}る^る方^{かた}を^を口^{くち}傳^{でん}



春^{はる}風^{かぜ}の^の柳^{やなぎ}

か^かぜ^ぜを^をさ^さる^る方^{かた}を^を口^{くち}傳^{でん}
 挿^さる^る方^{かた}を^を口^{くち}傳^{でん}
 小^こ島^{しま}柳^{やなぎ}を^を活^かる^る方^{かた}



何^{なに}種^{しゅ}の^の花^{はな}を^を

口^{くち}傳^{でん}者^{もの}

香の葉の挿

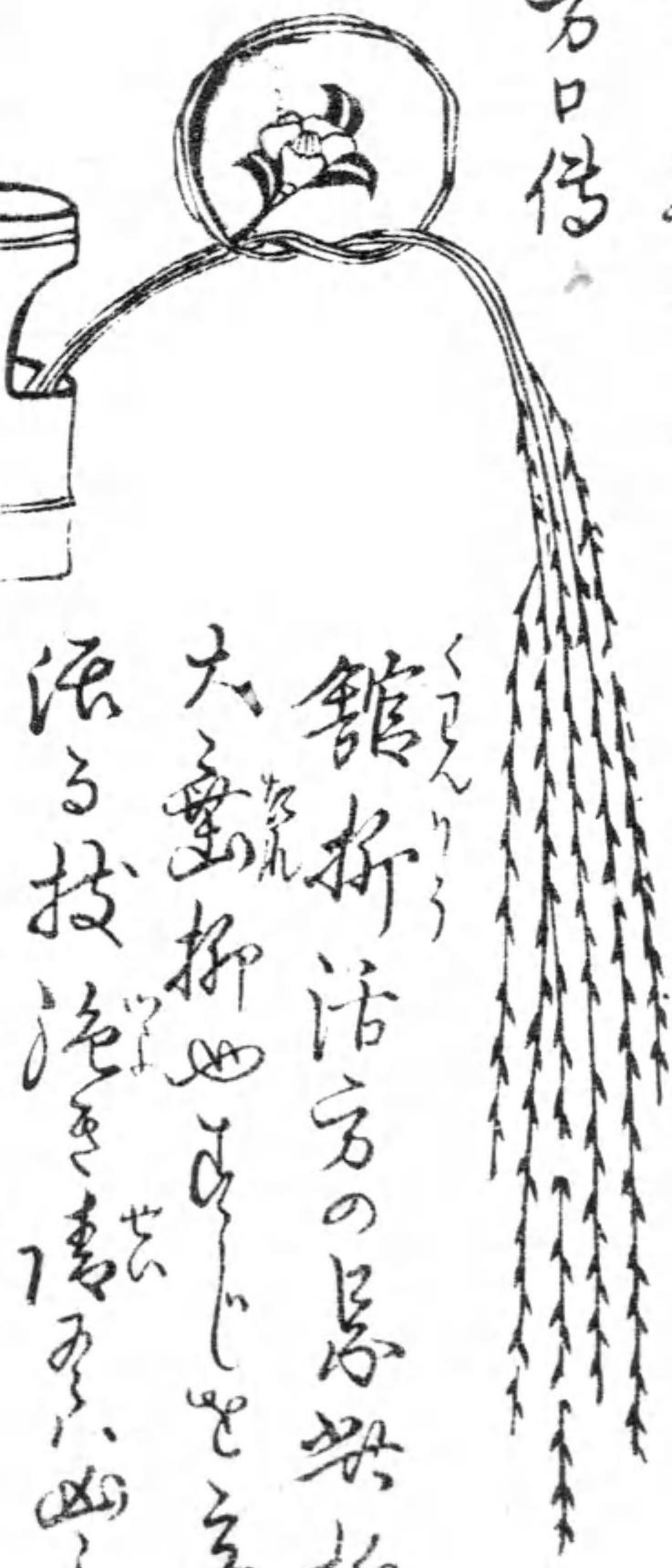
留めし枝

香の清もる葉

香とそつふ留めし香

と握りし葉をあり

挿方口傳



館折活方の長松折ハ
大壺挿也よしと云い
流る枝流る葉をありし

此挿ハ三本一ツとありて根本と結ぶ三ツハ

マ油り解ハ三ツとあり口傳元禪領の挿也

水ハ随分長き葉を葉次枝流る挿ハ

そハ幽し床子挿ハ其ハ長きとありあり

一段あり活方羽衣料小車等雜葉料

挿挿葉小葉懸衣麦富士草の葉著

葉男の葉花女節花長木ハ枝を挿之

三枝より五七九枝迄あり其本と一枝とありあり

木の如くこし強くてはくのみあり



小三葉

志摩



花

男節花

女節花

二三本

香てはくのみあり口傳



細薊

太薊

院薊

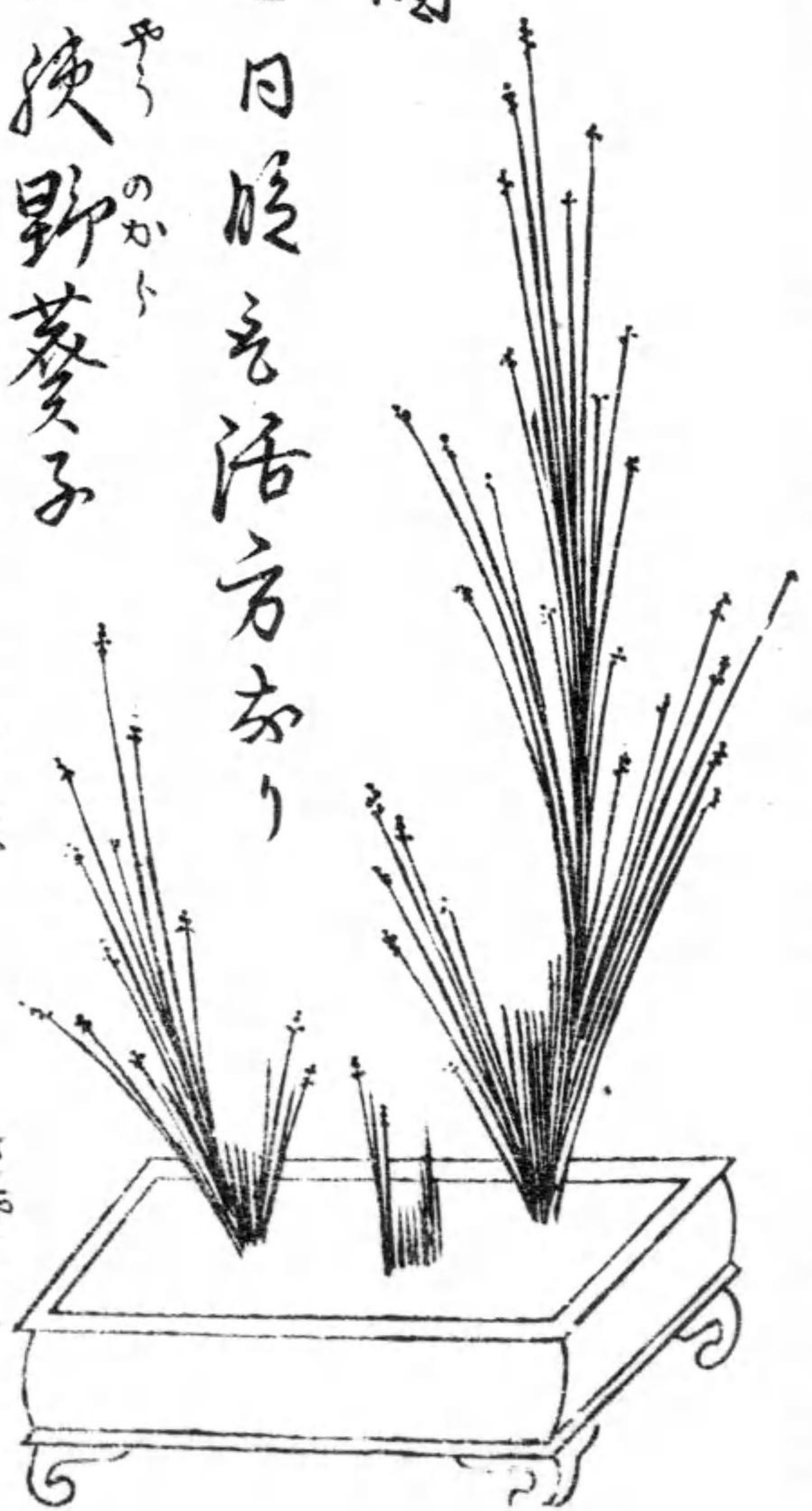
富久薊 日陰に活方あり

活梅 活野薊

赤の枝より活之薊 花車 花

花を意合て写ししき也 華ひ方何れ口傳

一畑附薊 物十種活方次々





蕨古海の如くの物ありて活る也

よめくさ日め口傳



即久たき口傳

のひやうき
形と捨扇あ生



右し即久たきを

此姿に活るあり

口傳



ちや月捨扇紅萑捨扇

行笈成物甲て予修見立よく活るあり

一縮砂四五月の花咲九十月実や結糸耐あり

活る花の物に耐きる葉を不用花毎葉茂

葉もまた花の咲きも如く活る也右日め

一紫^甲蘭^乙紐方糸傳、何下ざれハ糸^丙れ^丁口傳
 一檀^戊持^己糸切葉を^庚よ^辛く^壬し^癸切^甲久^乙だ^丙き^丁糸^戊め^己て^庚糸^辛下^壬ス

切久だき



右の如くこして
 活る糸し
 口傳

一紫^甲蘭^乙紐方糸^丙ま^丁、格^戊と^己右^庚、日^辛し^壬糸^癸
 盤^甲相^乙あり^丙、用^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸糸^甲糸^乙糸^丙糸^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸
 糸^甲糸^乙糸^丙糸^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸糸^甲糸^乙糸^丙糸^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸
 糸^甲糸^乙糸^丙糸^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸糸^甲糸^乙糸^丙糸^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸

一橙^甲金^乙蕉^丙ハ紐^丁糸^戊の中^己花^庚何^辛下^壬糸^癸糸^甲糸^乙糸^丙糸^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸
 拂^甲ひ^乙二^丙糸^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸糸^甲糸^乙糸^丙糸^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸
 数^甲多^乙ハ^丙活^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸糸^甲糸^乙糸^丙糸^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸

一義^甲人^乙蕉^丙花^丁の^戊油^己を^庚用^辛か^壬た^癸別^甲の^乙油^丙を^丁糸^戊糸^己糸^庚糸^辛糸^壬糸^癸

るあり右何運^{しやくかく}も口傳△苧茶^{しやくかく}日傳
 一葉物九種^{しゅうさく}夜苧^{やさく}苧茶^{しやくかく}十方^{じゅうほう}あり実ハ葉中
 二ある申^のも葉を^たぬき^の葉を^たぬき^の葉を^たぬき^の
 文^た傳^た一^た葉^たを^た言^たく^た葉^たあり

一寶^{たのりこ}子日換^{たのりこ}の活方^{たのりこ}あり
 一名^{いち}を般^{たん}若^{じやく}子^しともいふ
 一苧^{しやくかく}花^{はな}活^か方^{ほう}必^{かならず}の如^{ごと}し
 何^{なん}運^{うん}も日^{にち}換^{かん}七^{しち}葉^{えふ}三^{さん}株^{くわ}の活^か方^{ほう}也
 口傳



一岩^{いわ}落^{おち}活^か方^{ほう}用^{もち}又^{また}大^{おほ}小^この葉^{えふ}を^を種^{たね}子^こ大^{おほ}小^この葉^{えふ}を
 粗^たき^た目^めと^と花^{はな}を^を入^いる^る大^{おほ}小^この葉^{えふ}を^を入^いる^る中^{なか}白^{しろ}心^{こころ}を
 入^いる^る深^{ふか}ま^まと^と数^{かず}入^いる^る七^{しち}葉^{えふ}三^{さん}株^{くわ}の活^か方^{ほう}あり葉^{えふ}採^とり
 花^{はな}を^をむ^むと^と心^{こころ}を^をぬ^ぬし^し産^う出^だ山^{さん}岩^{いわ}落^{おち}深^{ふか}山^{さん}岩^{いわ}落^{おち}乾^か
 鮮^{せん}岩^{いわ}落^{おち}何^{なん}も^も実^み子^こ日^{にち}換^{かん}あり深^{ふか}山^{さん}の^の葉^{えふ}
 長^{なが}八^{はち}寸^{すん}の^の如^{ごと}し三^{さん}尺^{せき}余^{あま}も^もあり^{あり}の^の如^{ごと}し
 一水^{みづ}芭^ば蕉^{せう}根^ね活^か方^{ほう}日^{にち}換^{かん}小^こぬ^ぬる^るの^の如^{ごと}し
 一濱^{はま}盤^{ばん}如^{ごと}生^{せい}ハ^ハ莖^{かき}あり^{あり}物^{もの}中^{なか}の^の葉^{えふ}平^{へい}ら^らを^をか^から^らう

蕙^{みづく}よりして花をさす

一 蕙の根方當流にて九葉を挿をが生と次
右^{みづく}の^さを^さす^て一^つ大^はの^はの^さを^さす^て一^つ

霜^{しも}周^{しゅう}

実^みの^こり

風^{かぜ}の^こり



花盆

一 花^{はな}の^も物^{もの}十^{じゅう}種^{しゅ}活^か方^{ほう}胡^こ蝶^{てつ}花^かの^活方^{ほう}ハ^ハ始^{はじめ}五^ご葉^{えつ}
そ^の初^{はつ}儀^ぎも^もく^く根^ねを^を入^い用^{よう}と^とま^ます^す

蕙^{みづく}の花^{はな}を^を入^い用^{よう}と^とま^ます^す
所^{ところ}に^に活^か方^{ほう}を^を入^い用^{よう}と^とま^ます^す

蕙^{みづく}

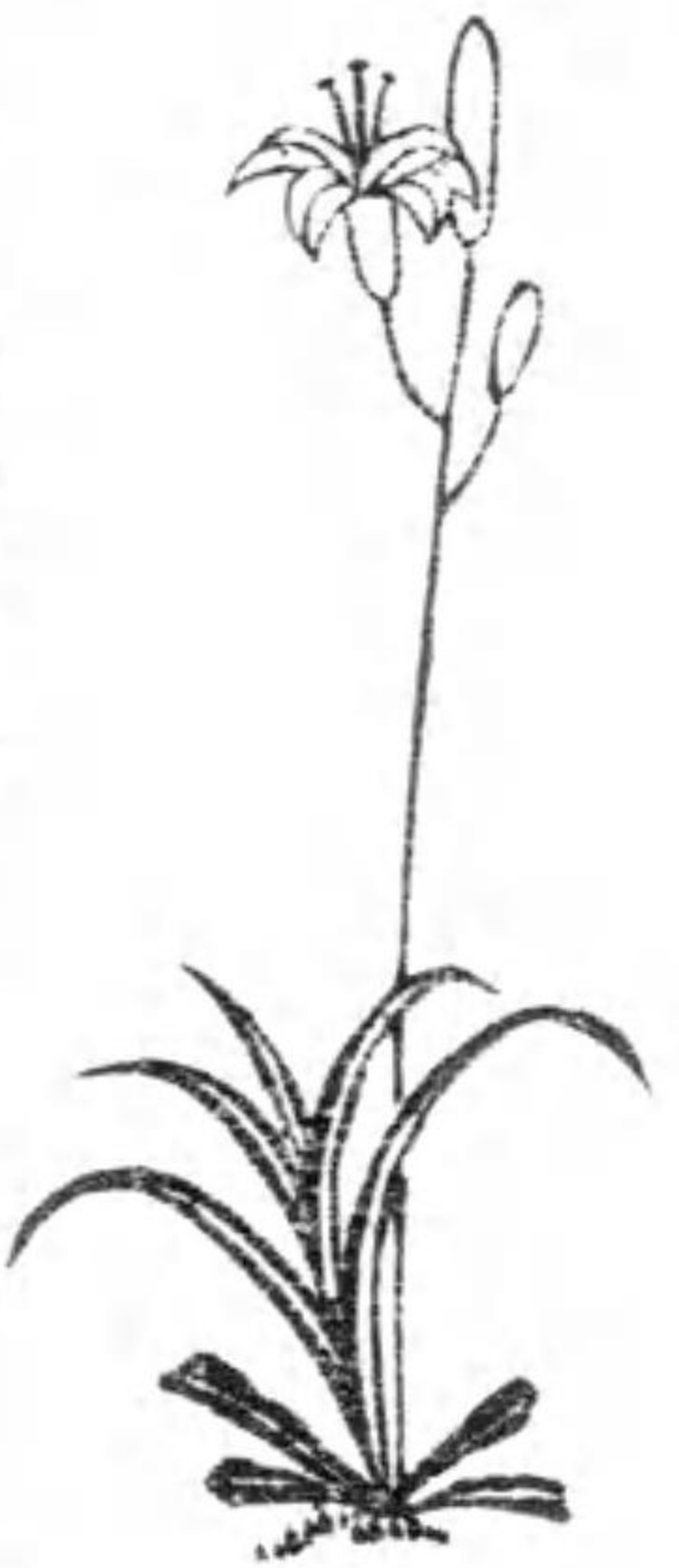


一 花^{はな}の^も物^{もの}十^{じゅう}種^{しゅ}活^か方^{ほう}日^ひ外^{がい}意^い合^あ物^{ぶつ}の^の一^{いつ}

一 白^{しろ}頭^{あたま}古^{ふる}葉^{えつ}の中^{なか}に^に若^わ芽^めと^と花^{はな}を^を生^{せい}次^じる^るあり
故^ゆに^に若^わ芽^めと^と花^{はな}を^を生^{せい}次^じる^るあり

くまろ
菅草お生

花かまの草



古葉の中へ若葉の花を挿す
葉の如く活るあり花かまの役葉を口傳

一杜若^{かまの}神又土葉組入るあり

まふ花葉を挿るあり

活る葉をかま

こまの口傳



右の物をまふ

如くある也



二花土葉の活方あり
花かまの活方あり

四季の活方あり口傳

花三本の活方

冠^{かむり}草

水及草

つ草あらしの役葉あり

くまの口傳



花菖蒲しやうぶ必かならずの也なりし

是こゝろより花はなハ

まゝの也なり

花はなハ也なり

花はな多おほくく活なごるる也なり



一いっ高たか菖しやう蒲ぶ活か方かた行ゆき儀ぎ少すく担たん重じゆうハ中ちゆう倍ばい重じゆう不ふ行ぎやう

花はなハ中ちゆう倍ばい重じゆう不ふ行ぎやう

一いっ花はな加からし何なに也なり先まづ三さん種しゆハ細こ葉は

故ゆゑ菖しやう蒲ぶ物ものの也なり一いっ葉はハ中ちゆう倍ばい重じゆう不ふ行ぎやう

花はなハ中ちゆう倍ばい重じゆう不ふ行ぎやう

一いっ川かわ青せいハ向むか合あマ葉は有ある物もの有あり

花はなハ向むか合あマ葉は有ある物もの有あり

花はなハ向むか合あマ葉は有ある物もの有あり

花はなハ向むか合あマ葉は有ある物もの有あり

花はなハ向むか合あマ葉は有ある物もの有あり



一いっ水みづ菖しやう蒲ぶ活か方かた行ゆき儀ぎ少すく担たん重じゆう不ふ行ぎやう

山吹玉川の糸を
嵐の如く活る也

水の活なまる

出えある境也

川の布ふまをく

蛇へびを糸を

よくふてつぎ花

横糸活るあり口傳



臥くさ龍梅の活方

園の如く

活る也

琳りん梅の水戸君が
福しむふ梅あり

丘戸本新巻井方村あり

糸ありしりしりし

口傳活る也



一 左旋右旋の偏天ハ陽々々々左旋一地球
陰々々々右旋一ととも見るる安きと
次等木を以て長きを老くる時地中ハ陽々々々
る時生功るよハ左旋し地中ハ陰々々々
時ある物ハ右旋次地中ハ陰陽氣の時生
あるよハ左旋右旋は活花は左り花
右り花活るハ長きハあり地中ハ天地陰
陽和合の物も也能く老へ一

一 一丈活花を学人ハ能く学末此有生と云
是也実を傳る甲乙をいんと能く傳る也又
直成るよハ其終極を云ふも実故といふ
も実云ふや云々として直成る木を
後撰句の法取た先傳るハ也也
ととも也也物一と云ふ人好む
おれハ長實あり雲實不を活花の法
と次生の傳ある技ハ実一と云ふは

糞^{ちんぎ}の生^{なま}の修^{しゆ}の芽^め末^まハ地^ち氣^きの海^{うみ}ありて糞^{ちんぎ}
 あり花^{はな}葉^は枝^{えだ}多^{おほ}し挿^さ木^き忌^いの花^{はな}葉^は枝^{えだ}を
 除^{のぞ}き去^さる実^み妙^{まう}を傳^{つた}ふるハ人^{ひと}道^{みち}にて仁^に義^ぎ
 五常^{ごう}の行^{ぎやう}俊^{しゆん}の法^{ぽう}を教^{しやう}申^{まう}るの如^{ごと}し生^{なま}まの修^{しゆ}
 の人^{ひと}を活^{くわく}物^{ぶつ}といふ事^{こと}もかごとし花^{はな}も生^{なま}まの修^{しゆ}
 ありハ活^{いけ}花^{はな}といふことハ人^{ひと}活^{くわく}物^{ぶつ}となりて
 死^しみまると根^ねおし芽^め末^まも活^{くわく}花^{はな}と成^なて
 如^{ごと}きとも如^{ごと}しの如^{ごと}き茶^{ちや}席^{せき}おとよハ如^{ごと}き

人^{ひと}の如^{ごと}き芽^め末^まの修^{しゆ}の花^{はな}と花^{はな}結^{けつ}さし
 て芽^め末^ま高^{こう}位^い傳^{つた}ふる事^{こと}ハ大^{おほ}地^ちある事^{こと}し
 茶^{ちや}も実^みの法^{ぽう}より實^{じつ}和^わ合^が能^{のう}く
 去^さるハ去^さる如^{ごと}き惜^{しやく}道^{みち}といふ事^{こと}ハ茶^{ちや}も実^みの
 法^{ぽう}ありハ去^さる如^{ごと}き花^{はな}は去^さる実^みの法^{ぽう}ありハ
 去^さる如^{ごと}き去^さる如^{ごと}き入^{いれ}の花^{はな}を一^{ひと}読^{よみ}する事^{こと}
 去^さる如^{ごと}きの法^{ぽう}より去^さる如^{ごと}き洗^{せん}御^ご流^{りゅう}を学^{まな}ぶ人^{ひと}
 能^{のう}く如^{ごと}きを新^{あらた}茶^{ちや}席^{せき}たりともみたりに

法格有之 物活有之 為之法 道與有之
とつとも 龜實傳とつとも 龜とつとも 龜とつとも 龜とつとも
創天地陰陽和合と 知る龜とつとも 西

此外水脚水揚ハ口傳

卷中傳辭用之卷終

御免許所秘
書不可他洩
者也

御室宮容真御流
家元 臥龍齋一圃法眼

三十一

大正拾貳年貳月拾六日印刷
大正拾貳年三月貳拾日發行



284
33

編輯者 大阪市西區北堀江御池通一丁目廿番地 安田キク
 版權所有者 大阪市西區京町堀通三丁目廿貳番地 安田リヨ
 發行者 安田リヨ
 發行所 大阪市西區北堀江御池通一丁目廿番地 安田キク
 印刷者 大阪市南區難波元町一丁目七百五十三ノ五 村井義一

終

